

令和5年度 入学式式辞

例年より早く、ここ自然豊かな浦河にも少しずつ希望に満ちた春の訪れを感じる今日の佳き日に、浦河町長 池田 拓 様、様似町長 荒木 輝明 様、PTA会長 吉津 孝昭 様をはじめ多数のご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席のもと、令和5年度の入学式を挙行できますことを心より厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました104名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。さて、皆さんに、三点お話いたします。

一点目は、浦河高校の校訓である【自主・敬愛・努力】のもと、高校生活の目標を明確にし、知識や技能・思考力・判断力・表現力・主体性・想像力・協働性・社会性・自律的活動力・実行力・継続力の力を身に付け、目標を達成して欲しいということです。そのためには、まず物事をよく見て理解し、自ら考え正しく判断し、主体的・協働的に探究し行動すること、自分と他人の人権や生命を敬い尊重する心を持つこと、望ましい自己実現のために常に自分の能力を向上させ、地域づくりに積極的に参加することです。目標はよく「大きく」と言いますが、まずは、小さな目標を設定し、地道にコツコツと達成できるよう努力してください。達成する際には、壁にぶつかることがあると思います。その時は、先生、友人、先輩などに相談してください。

二点目は、浦河町や様似町の地域の方々より、多くの支援や応援していただいていることを忘れずに、学校生活に励んで欲しいということです。支援や応援されているということは、それだけ皆さんに期待しているということです。本校では、地域の資源や人材を活用した科目が設置されています。これらを学ぶことにより、地域の良さ・大切さ・温かさを知るとともに、課題を発見することができます。地方創生という観点からも地域の皆様と一緒に、地域の課題を考え解決すること、そして、地域へ恩返しをする人になってください。

最後は、自分の生きる道だけではなく、家族や友人、自分の住む街・国が、どのようにすれば「良い状態」でいられるのかということを考えて生活して欲しいということです。今が楽しい、将来に希望が持てる、クラスや地域の人々の幸せを願う、学校や地域や世界を良くしていきたいと深化させ、個人だけではなく、個人を取り巻く場が持続的に良い状態であるというウェルビーイングを意識した学校生活を送ってください。自分の将来の夢を達成させるために、なぜ学ぶのか、何をどのように学ぶのかということ深く考え、元気よくやる気を出し、本気になってさまざまなことに挑戦してください。挑戦しても失敗することがあると思います。その失敗が人を成長させます。後ろを振り返るのは一瞬にし、常にもう一歩先へ進んでください。

保護者の皆様、改めまして、本日はおめでとうございます。お子様の将来の夢や希望が叶うよう、教育活動を実践していきますのでご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。子供たちの力は無限大です。その力を最大限に発揮できるよう我々教職員と一緒に支えていきましょう。

結びになりますが、新入生の皆さんの今後のご活躍を期待するとともに、ご臨席いただきましたご来賓並びに保護者の皆様のご健勝とご多幸をご祈念し、式辞といたします。

令和5年4月10日 北海道浦河高等学校長 齊藤 雄大